

検疫はメッセージ必要これからのプロセスを保持するための一時メールリポジトリです。

認可された機能によっては Cisco E メールセキュリティアプライアンス (ESA) は 3 つまでの検疫で最初に設定されます。

- **発生**-ウイルス発生がライセンスキーをフィルタリングする時作成されるウイルス発生フィルタによって使用される検疫は有効になります。
- **ウイルス**-アンチウイルスライセンスキーが有効になる時作成されるアンチウイルスエンジンによって使用される検疫。
- **ポリシー**-デフォルト検疫 (たとえば、可能な確認を必要とするメッセージを保存するのにこれを使用できます)。

メッセージは複数の検疫にさまざまな理由で行きつくことができます。たとえば、「ポリシー」検疫に攻撃的な材料が含まれているかもしれ、そのフィルタと一致し、ウイルスのためにスキャンすることができない暗号化された添付ファイルがあり、メッセージが受け取られる電子メールこの電子メールは「ウイルス」行きつきます「ポリシー」検疫をに検疫するために作成されるフィルタがあれば。

注：複数の検疫に常駐するメッセージを支配するポリシーはメッセージが検疫から提供されないようにしないこと「保守主義者」ですそのメッセージが常駐する検疫すべてから発表されなかったら。

検疫に関する詳細については、[Eメールセキュリティエンドユーザガイド](#)を参照して下さい。